

大切な文化財を守れ！ 「文化財防火デー」消防訓練



1月31日、垂水市市民館敷地内にある和田英作画伯の画室周辺で、消防訓練が行われました。「文化財防火デー」とは、昭和24年1月26日に奈良県法隆寺金堂の壁画が消失したことを教訓に、火災等の災害から文化財を守ることを目的に、毎年1月26日に指定され、全国で消火訓練等が行われています。当日の訓練では、消防本部の協力の下、通報訓練・放水訓練、初期消火訓練が行われ、参加した文化財保護審議会委員は「訓練によって、防火に対する意識を高めることができました」と話しました。

1月31日、道の駅たるみずはまびらに、土砂災害警戒区域等を表示する看板が設置されました。この看板は土砂災害軽減に取り組む（一財）砂防フロンティア整備推進機構により整備されたものです。牛根・新城両支所や道の駅たるみず湯っ足り館など、多くの人の目に触れる市内公共施設内全7カ所に同様の看板が設置されています。観光等で訪れた方々へ、市内の土砂災害警戒区域等を認知してもらうことで、災害時の被害軽減が期待されます。



土砂災害警戒区域等の
看板設置

山ヶ城芳子さん 人権擁護委員の感謝状贈呈



1月24日、人権擁護員を6年間務められた山ヶ城芳子さんが法務局より感謝状を受領され、市長室を訪れました。人権擁護員は人権尊重思想の普及・高揚を図るため、法務大臣より委嘱を受け、地域社会において人権相談、啓発、救済の各種人権擁護活動に従事している方々で、本市では現在、4人の方が人権擁護員として活躍されています。感謝状を受け、山ヶ城さんは「6年間、人権擁護委員の活動をする中で、色々と自分の勉強にもなりました」と話しました。6年間のご功労に感謝いたします。

柁原地区伝統行事 壁うっくじい 2年振りに開催!!



皆さん
ありがとう！
幸せな家庭を
築きます！

▲高野健太郎・宏美 夫妻

1月14日、新婚家庭2組のご実家がある柁原地区で、伝統行事「壁うっくじい」が開催されました。壁うっくじいとは、地域の子もたちに、新婚家庭の庭などに作った垣（壁）を打ち壊してもらうことで、家庭円満や子孫繁栄、新婦と義父母との垣根を取り払うことを願う行事として明治期より受け継がれているものです。2組のご夫妻の実家には、地域の子もや保護者、ご近所の方々も集まり、子どもたちの掛け声、大人たちの声援が飛び交う賑やかな雰囲気の中、見事に壁が打ち壊されました。その後、夫妻や実家からの感謝の気持ちを込めて、子どもたちにお菓子や飲み物が配られていました。高野さん夫妻は「多くの皆さんに来ていただけて嬉しいです。今日の日を忘れずに、幸せな家庭を築きたいと思います」と話しました。東京からリモートで参加した永田夫妻は「家族をはじめ地域の皆さんに感謝です。笑顔あふれる家庭を築きたいです」と話しました。素晴らしい伝統が、いつまでも続くことを願っています。



▲リモートで参加した永田幸人・まりあ 夫妻